

【部課名： 消防本部警防課 】

事業名		事業目的/概要			総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
救急救助事業		救急救助活動の高度化に伴い、職員の人材育成をはじめ、救急救助資機材の整備、救急応急手当等の普及啓発などを実施し、救急救助体制の充実強化を図る。			指標	総計の現状値	R7実績値	救命率の向上のため、救命講習等の普及啓発及び通信指令員が通報者や現場に居合わせた人へ心肺蘇生法を実施するよう口頭指導を行った。前年度と比較し、救命講習等の受講者数はやや増加した。また、現場に居合わせた人の心肺蘇生法実施率もやや増加しており、今後も目標値の達成に向け、改善点を検討しつつ取組みを継続していく。	救命講習等については、SNSや広報紙などを活用した積極的な普及啓発に取り組んだ結果、受講者数は昨年度から約5.8%増加した。今後も、受講機会の拡充や効果的な広報活動を継続・強化することで、更なる受講者数の増加を図り、目標値の達成を目指す。また、心肺蘇生法実施率向上に向けて映像通報システムを活用するなど、通信指令員による適切な口頭指導を実施することで、救命率の向上を図る。
					普通救命講習Ⅰ・Ⅱ、救命実技受講者数	975人	996人		
総合計画の位置づけ					現場に居合わせた人（バイスタンダー）心肺蘇生法実施率	59%	56%		
基本目標	安全・安心を一人ひとりが考えみんなで作くりあげるまち								
個別目標	防火意識と予防救急の意識を持ち命を守る行動ができるまち	事業費（うち市負担額）【千円】							
		R6決算額	9,728	(9,728)					
個別目標の方向性	病気やけがを「未然に防ぐ」「悪化させない」など予防救急の普及啓発を行います	R7決算見込額	9,131	(9,131)					
		R8予算額	10,115	(10,115)					